

外国人労働者の問題について考える 国際政策セミナー
「EUにおける外国人労働者をめぐる現状と課題 — ドイツを中心に —」
を2018年2月23日（金）に開催します。

少子高齢化などを背景として、我が国では外国人材の活用が検討課題とされています。国立国会図書館では、ドイツから、高名な法学者であるアルブレヒト・ヴェーバー氏をお招きして、ドイツにおける外国人労働者の問題についてお話を伺います。あわせて、日本の著名なEU法・ドイツ法の専門家とのパネルディスカッションを行います。

日時	2018年2月23日（金）14:00～17:00
会場	国立国会図書館東京本館 新館講堂（東京都千代田区永田町1-10-1）
参加費	無料
定員	300名
プログラム	※日英同時通訳付 【基調講演】 「EUにおける外国人労働者をめぐる現状と課題 — ドイツを中心に —（仮題）」 アルブレヒト・ヴェーバー氏（オスナブリュック大学名誉教授） 【パネリスト】 広渡 清吾氏（東京大学名誉教授） 中坂 恵美子氏（中央大学文学部教授） 【コーディネータ】 中村 民雄氏（国立国会図書館客員調査員・早稲田大学大学院法学研究科教授）

参加申込 国立国会図書館ホームページからお申込みください。
<http://www.ndl.go.jp/jp/event/events/ips2017.html>
または、①講演会名 ②氏名とふりがな ③ご連絡先（電話かEmail）を明記のうえ、FAXを03-3581-2603までお送りください。

申込締切 ホームページ、FAX共に2018年2月21日（水）まで

お問合せ先

国立国会図書館 調査及び立法考査局
調査企画課 連携協力室（担当：福林・川鍋・兼松）
TEL: 03-3581-2331（代） FAX: 03-3581-2603 Email: ml-ipseminar@ndl.go.jp

<登壇者略歴>

【基調講演者・パネリスト】

アルブレヒト・ヴェーバー氏
(Prof. ir.Dr. Albrecht Weber)
(オスナブリュック大学名誉教授)



ヴュルツブルク大学法学博士。元・オスナブリュック大学法学部教授。専門は、難民法、外国人法、比較憲法、ヨーロッパ法。

【パネリスト】(五十音順)

なかさか えみこ
中坂 恵美子 氏 (中央大学文学部教授)

名古屋大学法学部卒業。広島大学社会科学研究所准教授・教授等を経て、2017 年から現職。専門は EU 法、国際法。

ひろわたり せいご
広渡 清吾 氏 (東京大学名誉教授)

京都大学法学部卒業。東京大学社会科学研究所助教授・教授、専修大学法学部教授等を歴任。専門はドイツ法、比較法、法社会学。

【コーディネータ】

なかむら たみお
中村 民雄 氏 (国立国会図書館客員調査員・早稲田大学大学院法学研究科教授)

東京大学法学部卒業。博士(法学)。成蹊大学法学部教授、東京大学社会科学研究所教授等を経て、平成 22 年から現職。専門は EU 法、イギリス法等。

